様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

課程名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ICT システム・デザイン科 IT スペシャリストコース	夜・通信	５５単位	７単位	
	ICT システム・デザイン科 グラフィックデザインコース	夜・通信	４６単位	７単位	
	ICT システム・デザイン科 高度 IT エキスパートコース	夜・通信	４２単位	１３単位	
商業実務専門課程	医薬サポート科 メディカルサポートコース	夜・通信	６１単位	７単位	
	医薬サポート科 医薬品スペシャリストコース	夜・通信	４０単位	７単位	
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	１２２単位	１０単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/s

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和８年５月 31 日～令和 11 年定時評議員会開催日まで	同じ企業団地に所在する企業としての意見・要望
非常勤	株式会社役員	令和８年５月 31 日～令和 11 年定時評議員会開催日まで	就職先となるビジネス界から学校評価および意見･要望
非常勤	株式会社役員	令和８年５月 31 日～令和 11 年定時評議員会開催日まで	就職先となるビジネス界から学校評価および意見･要望
非常勤	株式会社役員	令和８年５月 31 日～令和 11 年定時評議員会開催日まで	就職先となるビジネス界から学校評価および意見･要望
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は、３月に作成する。その上で、それぞれ前期は３月下旬、後期は８月下旬までに当学園ホームページにて公開、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。

授業計画書の公表方法	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 評価については、学則、「第 21 条　成績評価」、及び、学生の手引き、「４　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。 各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上にＡ評価、70 点以上 90 点未満をＢ評価、60 点以上 70 点未満をＣ評価、60 点未満をＤ評価とする。Ｄ評価の場合は不認定とする。 評価試験を受験するためには出席率 80%以上（歯科衛生士科については 90%以上）を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

GPA 制度を導入し、毎期末時の成績評価の際に、全ての学生の評価を集約し、GPA による客観的な成績分布状況の把握を行っている。あらかじめ設定した算出方法により、GPA 等の数値を算出している。

GPA による成績評価については学生の手引き内に記載をし、学生に周知するとともに、「学生の手引き」はホームページ上に公表する。

GPA（Grade Point Average）は、下記のように計算をされ、一人ひとりの総合的な評価としてクラス内における成績順位を決定する。

	合格			不合格
評価	A	B	C	D
点数	90 点以上	70 点以上 90 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
GP	3	2	1	0

$$GPA = \frac{\text{〔履修登録科目の GP×その科目の単位数〕の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を下記のように定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。

長野平青学園の理念と教育目標に基づき、各学科コースにおいて、次の方針により卒業を認定します。

１．各学科、コースの基準となる単位を修得し、かつ、定める審査基準に達ししていること。
２．次に掲げる各項目の能力、姿勢などを有している。
①目指す職業についての理解と、各学科が目標とした専門技術者としての能力
②課題への取り組みにおいて、主体的かつ協働的に解決を図る能力
③自分の意見と状況を他者に対し分かりやすく表現できるプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力
④修得した知識と技術、資格を体系立てて活用し、職業をとおして社会に貢献する姿勢
⑤職業人としての倫理観・社会観

卒業の認定に関する方針の公表方法	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/
財産目録	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/
事業報告書	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/
監事による監査報告（書）	当学園ホームページにて公表。 https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業分野	工業専門課程	ICT システム・デザイン科 IT スペシャリストコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	65 単位時間/単位	36.6 単位時間/単位	23.2 単位時間/単位	7.2 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	14 人	0 人	1 人	7 人	8 人

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は３月下旬、後期は８月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。 また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法

（概要）
評価については、学則、「第 21 条　成績評価」、及び、学生の手引き、「４　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。
評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。
各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上にA評価、70 点以上 90 点未満をＢ評価、60 点以上 70 点未満をＣ評価、60 点未満をＤ評価とする。Ｄ評価の場合は不認定とする。
試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は 80%以上である事
②65 単位以上を習得する事
③必履修科目は必ず取得する事
④成績評価は A・B・C を単位認定とし、D は不認定とする
⑤当該年度の授業料等に未納がない事

学修支援等

（概要）
授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 （100%）	0 人 （　　%）	6 人 （100%）	0 人 （　　%）

（主な就職、業界等）
ＩＴ業界、製造業界

（就職指導内容）
1 年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。

（主な学修成果（資格・検定等））
ＩＴ系の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、訓練生における再就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
工業分野		工業専門課程	ICT システム・デザイン科 グラフィックデザインコース			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	65 単位時間/単位	33.6 単位時間/単位	22.4 単位時間/単位	8 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	6 人	0 人	1 人	6 人	7 人

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は３月下旬、後期は８月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。 また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価については、学則、「第 21 条　成績評価」、及び、学生の手引き、「４　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。

評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。
各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上にA評価、70 点以上 90 点未満をB評価、60 点以上 70 点未満をC評価、60 点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。
試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は 80%以上である事
②65 単位以上を習得する事
③必履修科目は必ず取得する事
④成績評価は A・B・C を単位認定とし、D は不認定とする
⑤当該年度の授業料等に未納がない事

学修支援等

（概要）
授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 （100%）	0 人 （ 0%）	2 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）
広告・印刷・デザイン・クリエイティブ業界

（就職指導内容）
1 年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。

（主な学修成果（資格・検定等））
グラフィック系の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人	20%
（中途退学の主な理由） 体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業分野	工業専門課程	ICT システム・デザイン科 高度 IT エキスパートコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	124 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	1 人	0 人	1 人	7 人	8 人

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。
※2025 年度の募集は停止している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は 3 月下旬、後期は 8 月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。 また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価については、学則、「第 21 条　成績評価」、及び、学生の手引き、「４　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上にＡ評価、70 点以上 90 点未満をＢ評価、60 点以上 70 点未満をＣ評価、60 点未満をＤ評価とする。Ｄ評価の場合は不

認定とする。
試験を受験するためには出席率80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は80%以上である事
②65単位以上を習得する事
③必履修科目は必ず取得する事
④成績評価はA・B・Cを単位認定とし、Dは不認定とする
⑤当該年度の授業料等に未納がない事

学修支援等

（概要）
授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (-%)	0人 (　　-%)	0人 (　　-%)	0人 (　　-%)

（主な就職、業界等）
ＩＴ業界、製造業等のシステム部門

（就職指導内容）
2年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが2名常駐し対応している。

（主な学修成果（資格・検定等））
データベースやクラウドなどの実践的なＩＴ系の資格取得を目指している。

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
商業実務分野		商業実務専門課程	医薬サポート科 メディカルサポートコース		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	65 単位時間/単位	41 単位時間/単位	22.3 単位時間/単位	8.9 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	10 人	0 人	1 人	8 人	9 人

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は３月下旬、後期は８月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。
また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価については、学則、「第 21 条　成績評価」、及び、学生の手引き、「４　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。
評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。
各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上にＡ評価、70 点以上 90 点未満をＢ評価、60 点以上 70 点未満をＣ評価、60 点未満をＤ評価とする。Ｄ評価の場合は不認定とする。
試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は 80%以上である事
②65 単位以上を習得する事
③必履修科目は必ず取得する事
④成績評価は A・B・C を単位認定とし、D は不認定とする
⑤当該年度の授業料等に未納がない事

学修支援等

（概要）
授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 （100%）	0 人 （ 0%）	4 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）
病院、医院、歯科医院、調剤薬局、ドラッグストア

（就職指導内容）
1 年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。

（主な学修成果（資格・検定等））
登録販売者、販売士の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務分野	商業実務専門課程	医薬サポート科 医薬品スペシャリストコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位時間/単位	35.8 単位時間/単位	17.3 単位時間/単位	14.9 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	7 人	0 人	1 人	10 人	11 人

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。
また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。

成績評価の基準・方法

（概要）

評価については、学則、「第21条　成績評価」、及び、学生の手引き、「4　成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。
評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。
各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。
試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は80%以上である事
②65単位以上を習得する事

③必履修科目は必ず取得する事 ④成績評価はA・B・Cを単位認定とし、Dは不認定とする ⑤当該年度の授業料等に未納がない事
学修支援等
（概要） 授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 （100%）	0人 （ 0%）	6人 （ 86%）	1人 （ 14%）
（主な就職、業界等） 調剤薬局、ドラッグストア			
（就職指導内容） 1年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが2名常駐し対応している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者、販売士の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療分野		医療専門課程	歯科衛生士科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

3年	昼	126 単位時間/単位	79.3 単位時間/単位	10.9 単位時間/単位	35.8 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	45 人	0 人	5 人	40 人	45 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。
また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。

成績評価の基準・方法

（概要）

評価については、学則「第21条　成績評価」、及び､学生の手引き「４．成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法･基準により厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。
評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。
各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し､その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。
試験を受験するためには出席率 90%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定に関する方針（ディプロマ･ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。
当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。
①各科目とも出席率は90%以上である事
②全科目C以上で取得する事
③当該年度の授業料等に未納がない事

学修支援等

（概要）

授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め､必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	0 人 （ 0%）	18 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 歯科医院			
（就職指導内容） 3 年次の卒業研究終了時より、学校への求人をいただいた歯科医院への見学を始め、面接、内定をさせている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格 歯科衛生士資格の取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	2 人	4%
（中途退学の主な理由） 進路の変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な２者面談・３者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
ICT システム・デザイン科（IT スペシャリストコース／グラフィックデザインコース）	160,000 円	640,000 円	170,000 円	施設設備維持費
ICT システム・デザイン科（高度 IT エキスパートコース）	160,000 円	500,000 円	170,000 円	施設設備維持費
医薬サポート科	160,000 円	610,000 円	140,000 円	施設設備維持費
歯科衛生士科	160,000 円	640,000 円	170,000 円	施設設備維持費
国際ビジネス科	160,000 円	610,000 円	140,000 円	
日本語科　2 年コース	50,000 円	602,000 円		（授業料は施設設備・維持費含）
日本語科 1.5 年コース	50,000 円	301,000 円		（授業料は施設設備・維持費含）

修学支援（任意記載事項）

・特待生制度　専願、評定平均値 3.8 以上、高等学校長の推薦
入学試験（筆記試験、面接試験）の結果を基に下記ランクを適用
Ａランク　1 年次授業料の減免
Ｂランク　1 年次前期授業料の減免
Ｃランク　1 年次前期授業料 20 万円の減免
Ｄランク　1 年次前期授業料 10 万円の減免
・家族制度
父・母・姉・兄・弟・妹が当学園の卒業生または在校生である場合
入学金 10 万円の減免
・遠隔地制度
通学において自宅から学園まで 2 時間以上を要する場合または 50km 以上の新幹線通学をする場合
入学金 10 万円の減免

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当学園ホームページにて公表。
https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

学校関係者評価委員会を年に 2 回開催し、事前に配布した自己評価表を元に、委員より学校の状況、自己評価に対して意見、要望を加えていただいている。いただいた意見をもとにした以降の対策・実効策については評価表とともにまとめ委員へ郵送すると同時にホームページに公表している。
【評価項目】
（1）教育理念・教育目標・人材育成像
（2）学校運営
（3）教育活動
（4）学修成果と教育効果

（５）学生支援
（６）教育環境
（７）学生の募集と受け入れ
（８）財務
（９）関係法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献
【学校関係者評価委員の構成】
学外委員　５名　　卒業生　　２名

【活用方法】
教務会・カリキュラム編成委員会等で、評価結果から得られた課題等を情報共有すると同時に、次年度以降の学校運営等の施策・カリキュラムを検討する際のポイントとして提示している。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
協同組合中央経友会	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	学外・業界関係者
協同組合長野アークス	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	学外・業界関係者
富士印刷株式会社	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	学外・業界関係者
長野市薬剤師会	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	学外・業界関係者
堀内歯科医院	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	学外・業界関係者
長野アークス	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	卒業生
	令和８年５月31日～令和11年定時評議員会開催日まで	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当学園ホームページにて公表。
https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure/

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当学園ホームページにて公表。
https://www.heisei.ac.jp/